

平成 25 年 8 月 4 日

第 1 回

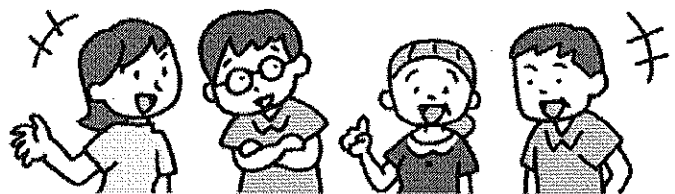
「東京電力グランド跡地の公園計画づくり」

ワークショップ進行表

次 第

- | | |
|----------------|--|
| 10:00
(25分) | 開会
○杉並区担当課あいさつ
○公園検討の流れと公園整備事業の予定
○本日のワークショップの進め方 |
| 10:25
(60分) | グループ検討
○自己紹介
○敷地の特徴と魅力について語ろう
○公園整備に対する夢について語ろう |
| 11:25 | グループ発表 |
| 11:45 | 本日の検討のまとめ |
| 12:00 | 閉会 |

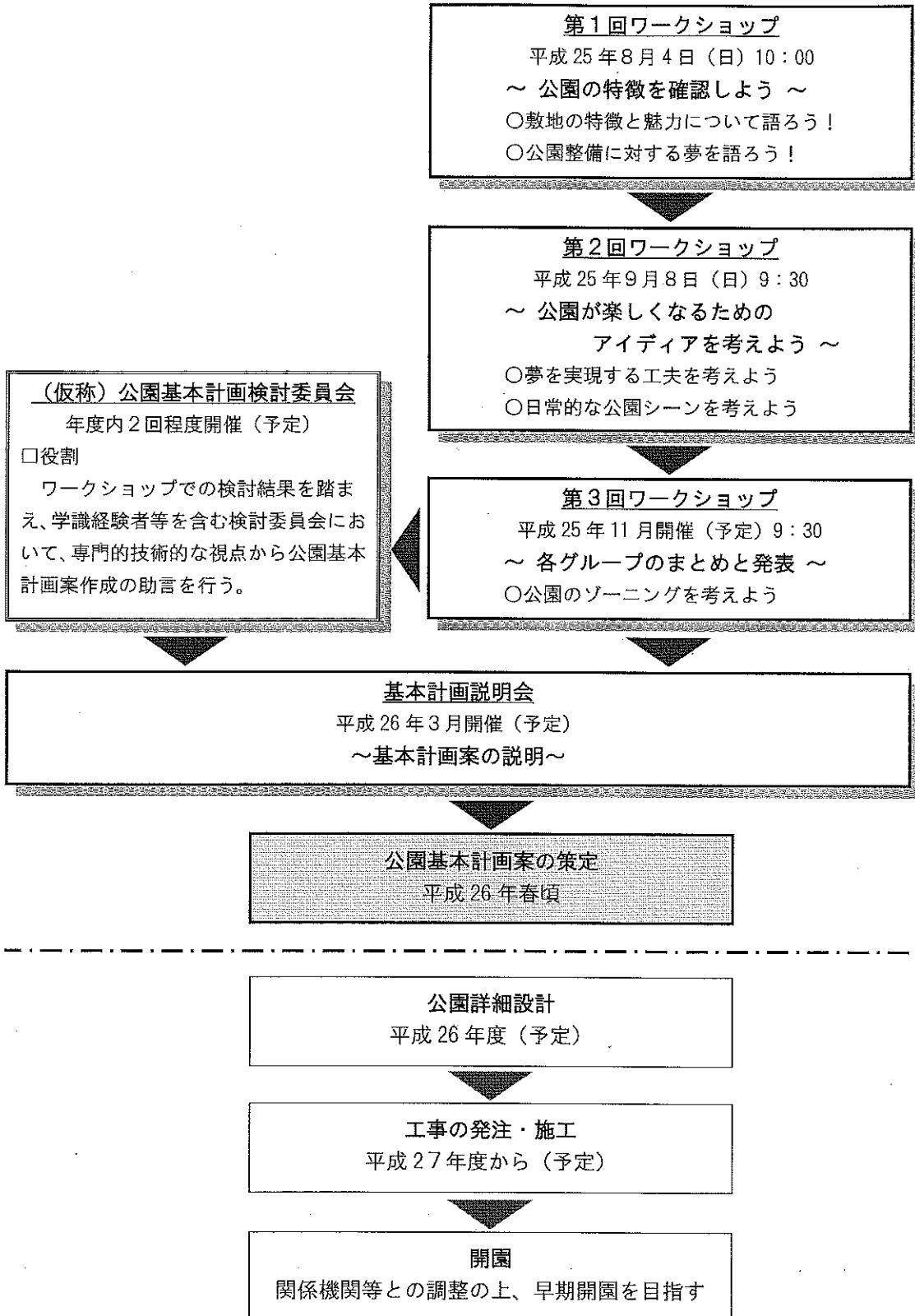
※進行状況により閉会時間が若干遅れることもありますので、あらかじめご了承ください。



お問い合わせ先 杉並区 都市整備部 みどり公園課 公園整備係
03-3312-2111 (内線3583~6)

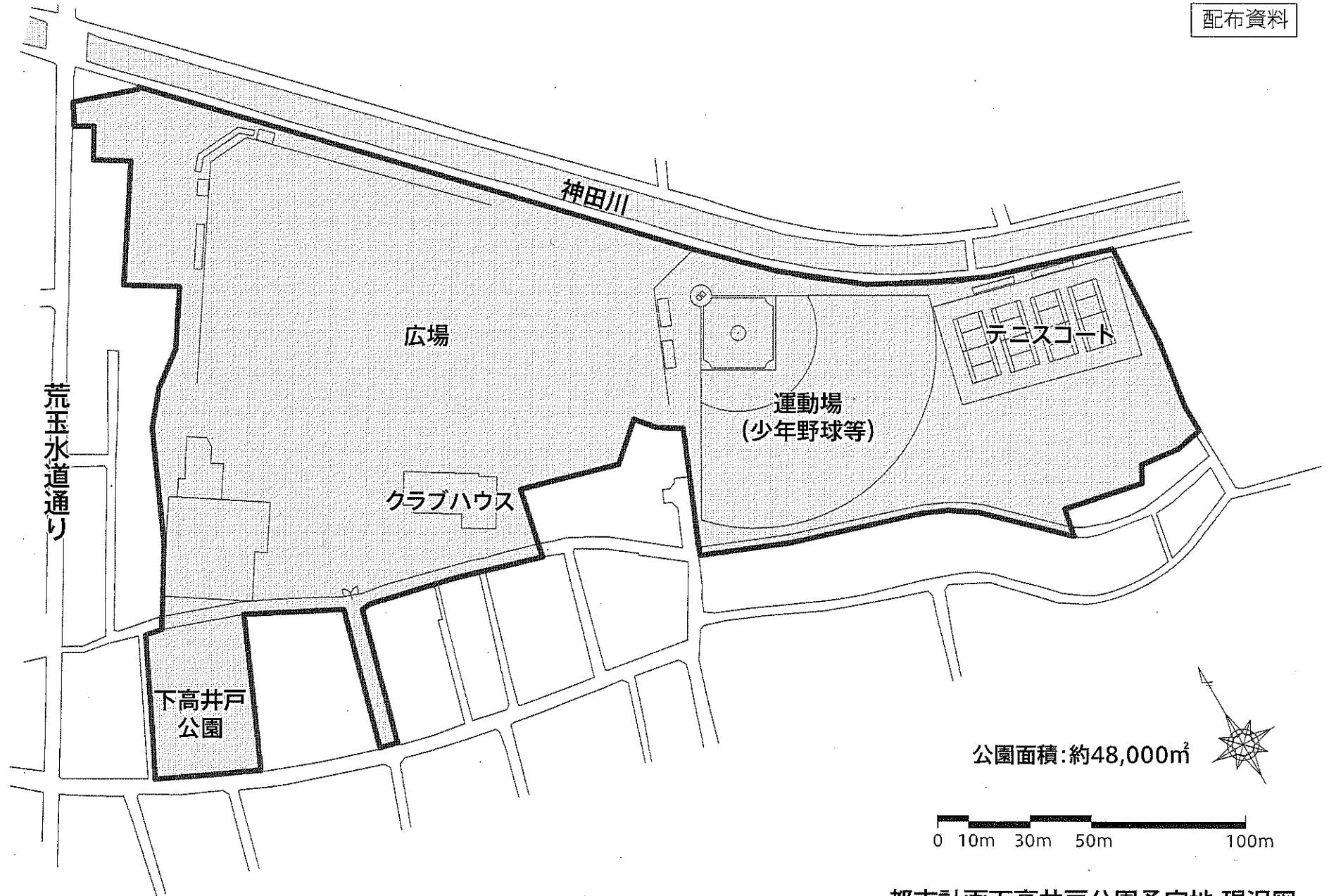
平成 25 年 8 月 4 日

今年度の公園計画づくりとその後の予定



平成25年8月4日

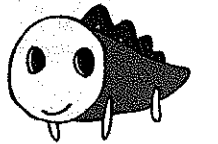
配布資料



都市計画下高井戸公園予定地 現況図

創刊号

公園づくりかわら版



今号の主な内容

■第1回ワークショップ「公園の特徴を確認しよう」での話し合いの内容をまとめました。

第1回ワークショップを開催しました！

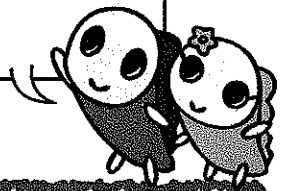
広報すぎなみ(6月21日号)及びチラシ配布により「東京電力グランド跡地の公園計画づくり」ワークショップ参加者の募集を行ったところ79名の方々にご応募をいただきました。

ご応募いただいたみなさんとともに、公園計画づくりを進めています。

平成25年8月4日(日)に行った第1回ワークショップでは62名の方々にご参加いただきました。当日は6グループに分かれ、「公園予定地の特徴や魅力について」、「公園整備に対する夢について」話し合いを行いました。

公園づくりの話し合いにあたって、区から以下のお願いをしました。

- 防災： 震災時に避難ができる公園にしよう(区では治水対策も考慮していきます)
 - 運動： 地域の方の健康増進に繋がるスポーツのできる公園にしよう
 - みどり： 既存のみどりを活用し四季を感じるみどりをつくろう
- 大火災による熱から守る防火樹林も配置しよう



①公園予定地の特徴や魅力について

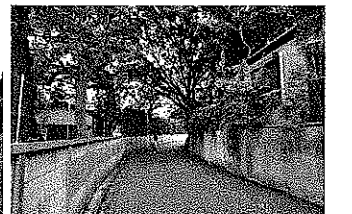
公園予定地の印象や特徴、魅力等を話し合っていました。一部の参加者の方から昔の公園予定地の様子なども伺いました。概要は以下の通りです。

印象

- 敷地が広い。
 - ・風が心地良い、空が広く感じる、夕日がきれい。
- 敷地周辺が塀等で囲われていて閉鎖的である。/等



■公園予定地



■公園予定地周辺道路

課題

- 広域視点からの本敷地の機能整理が必要である。
 - ・本公園の防災的位置づけ(機能、導入防災施設等)。
 - ・神田川により敷地北側地域からアクセスが限定。(災害時の逃げ込み動線、通学路動線、接道状況の改善等)。
 - ・周辺運動施設等との相互補完(スポーツニーズの把握)。
- 出入口が限定されている。
- 神田川とのつながりが必要。
- 近隣住戸に対する防犯的配慮が必要。
- 敷地が広いため維持管理がかかるのでは? /等



■神田川の遊歩道



■下高井戸公園(既存)

D

みどり

- ・昆虫飼育(絶滅系)
- ・森と広場
- ・ビオトープ→最終目標、虫
- ・川沿いにサクラの復元
- ・木陰のある遊歩道(人専用)
- ・シンボルツリー(この木な
- ・んの木みたいな)
- ・野鳥と触れ合える
- ・川でも遊べる
- ・虫すむ

安全安心

- ・防災の拠点に
- ・ホームレスが住みつかない
- ・パトロールをまわす
- ・夜うるさくならない公園

敷地の広さ

- ・未就学児の遊び場
- ・年齢ごとに使えるエリア分け
- ・裸足で遊べる広場
- ・森の中の散歩コース歩き専用
- ・散歩道、ゆったり歩ける、ランニングは別に
- ・シニアの公園
- ・高齢者のための公園
- ・大人も裸足で楽しめる
- ・周辺の公園や施設とすみわけ
- ・コントラバスが弾ける公園
- ・老若男女が楽しく過ごせる
- ・老人子供の共生の場
- ・ボール使用可エリア、不可エリアすみわけ
- ・ドッグラン2か所
- ・犬が入れるところ、入れないところを作る
- ・柏の宮公園とは違う形で

神田川

- ・神田川で発電
- ・ここで使う電気はここで賄う
- ・再生可能エネルギーを取り入れる
- ・たくさんの太陽光パネル
- ・水力発電(小)のモデル(子供の遊びの場としても)
- ・せせらぎ、水の流れ→水力発電
- ・神田川の水を公園に取り込む
- ・神田川の水の有効利用(震災時等)

憩い

- ・定期的なイベント実施
- ・人が集まる仕組みづくり(開園後)
- ・ラジオ体操
- ・老若男女が集える場所

アクセス

- ・駐車場は少ない方がいい?
- ・公共交通でアクセスする公園
- ・公園横にバス停を

施設

- ・新しい施設を作るよりエリア分けをする
- ・カフェ
- ・オープンカフェ
- ・区下を見まわせるシンボルタワー
- ・きれいなトイレがあちこちに
- ・銭湯、スパ
- ・温水プール
- ・大テント下の広場
- ・紫外線対策された遊び場
- ・バリアフリー
- ・障害者の運営するカフェ



E

おしゃれな公園

- ・他にない公園
- ・みんなが羨ましがれる公園
- ・大人が来なくなる公園/住民と交流
- ・名前を変える
- ・人が集まる=いい公園
- ・リゾートに行くよりここに来たくなる
- ・整備され続ける
- ・進化し続ける
- ・セキュリティ対策として、オープンではない。入場ゲートあり
- ・安心安全
- ・文化的な教育性

文化

- ・外で本をゆっくり読む
- ・移動式で図書カーがきてくれる
- ・図書館の本が外で読める
- ・文庫
- ・美術館みたいな文化的施設があってもいい
- ・野外美術館

春夏秋冬

- ・お花見
- ・春=サクラ
- ・フェスティバル、祭り
- ・パーベキュー(有料)
- ・冬、寒い季節でも来たくなる→スパ?

施設

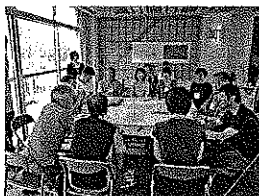
- ・カフェ誘致?住民主導
- ・ランチを食べたくなる
- ・犬利用、共存できる
- ・ドッグラン

健康、スポーツ

- ・高齢者が楽しめる、憩える(木陰ベンチ)
- ・高齢者が出歩ける(健康遊具)
- ・芝生に直接寝転がれる
- ・ジャグジーつきのプール(健康増進)
- ・プールを残してほしい
- ・プール有料でもOK
- ・サッカー場ももっと使えるように
- ・ランナー向けの運動スペース
- ・神田川を走る人が運動できる場所が欲しい
- ・ボール遊びのできる所が少ない。遊具、水遊び
- ・運動した後に体をリフレッシュできる施設(スパなど)

インフラ

- ・神田川沿い歩道を広げたい
- ・神田川で水遊び
- ・橋が欲しい
- ・駐車場(有料でも可)
- ・駐輪場たくさんほしい
- ・きれいなトイレ(有料でも可)
- ・公園内を通る通学路は?
- ・照明
- ・木陰とベンチ



F

公園全体・地域

- ・仲間力、コミュニティ生まれる公園!

みどり

- ・緑がいっぱい
- ・日陰
- ・花がいっぱい
- ・四季を感じられる

憩い

- ・コミュニティ
- ・花、ハーブを楽しむ
- ・ピジターセンターを休憩所に
- ・住民による喫茶店
- ・犬と遊ぶ(ドッグラン)

神田川

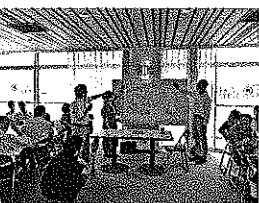
- ・神田川とのリンクージュ

健康、スポーツ

- ・テニス
- ・野球
- ・ジョギング
- ・散歩
- ・ガーデンゴルフ
- ・親子が気軽に、予約なしでボール遊びのできる公園

安全安心

- ・水(貯水)
- ・電気(発電、蓄電)
- ・接道が課題
- ・仲間力という防災



発行者

杉並区 都市整備部
みどり公園課 公園整備係
〒166-8570
杉並区阿佐ヶ谷南 1-15-1
TEL: 03-3312-2111 (内線 3583 ~ 6)
FAX: 03-5307-0697

~ワークショップ参加者のみなさんへ~

次回のワークショップは、9月8日(日) 午前9時30分~
東京電力グランド跡地内クラブハウスにて、「公園が楽しくなるためのアイデア」について話し合いを行います!



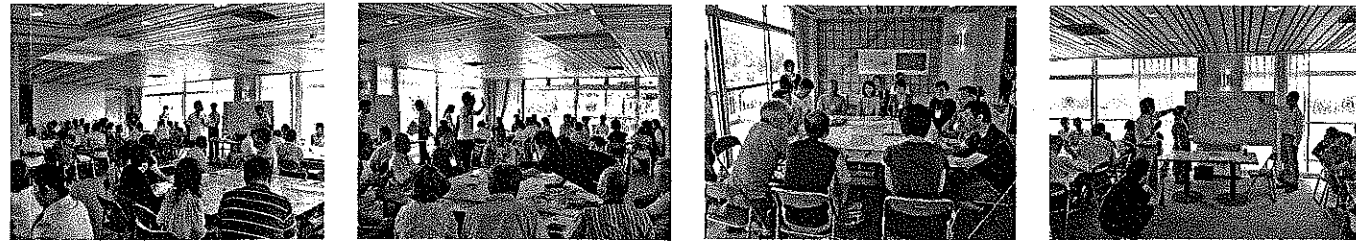
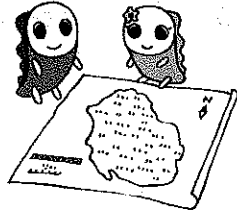
②公園整備に対する夢について

「どんな公園にしたい?」「公園でどんなことをしたい?」など公園整備に対する夢をみなさんと話し合っていました。

『みどり』、『防災』、『健康』、『スポーツ』など地域の中心の場となり、コミュニティが生まれる公園を望む意見が多くありました。また、公園見学会開催(有志)の提案もありました。

意見概要は以下の通りです。

- ・地域の仲間力、コミュニティの生まれるような公園。
- ・おしゃれな公園。
「おしゃれ」ということは、公園がいつも安全安心で、きれいに管理され、快適で、公園自体に魅力があることで、多くの人利用する公園になる。
- ・禁止事項が少ない公園(利用マナーの向上も必要)。
- ・神田川とのつながりを意識し、河川空間と一体的に公園の魅力を高める。
- ・近隣住戸への防犯性を配慮した上で、周辺の塀撤去により閉鎖感を解消する。
- ・コミュニティバスの停留所を設けることでアクセス向上を図り駐車場を減らす。
- ・既存施設の有効活用と新たな機能導入(飲食施設、文化施設等)。
- ・導入施設については、何も無い公園という意見もある一方で、運動施設、温水(室内)プール、ドッグラン、スパ施設、ソーラー発電施設、眺望タワー等の意見もあった。



各グループで出た意見は以下の通りです。
みなさんから頂いた意見(付箋記載)を全て記述しました。

A

みどり

- ・みどりを残す
- ・木がある、花がある公園
- ・子供が土や木に接する場所
- ・草っぱら広場
- ・木陰、ベンチが欲しい

神田川

- ・遊歩道の関係
- ・神田川沿いの壁×一体感を出す
- ・神田川のコンクリートを何とかしたい

健康、スポーツ

- ・ジョギングコース
- ・アスレチックがあるといい
- ・プール(防災、貯水にも活用?)
- ・土の道・木陰・ジョギング
- ・子供たちがボール投げができる公園
- ・子供から老人にやさしい公園
- ・ドッグラン(災害時はペットの保管所)
- ・遊具を置く

文化

- ・野外音楽堂
- ・物販・飲食サービスは不要
- ・文化活動

安全安心

- ・防災機能の位置づけ(倉庫?)
- ・町会パトロール(月3回など)
- ・防災用トイレ(マンホール)
- ・カマド
- ・非常用の水源(防火、飲用)
- ・平坦な広場
- ・避難兼運動広場
- ・全体的に夜でも明るい公園
- ・歩行者の安全性
- ・車両の入り口
- ・周りの壁をなくし開放的に



B

公園全体・地域

- ・特色のある公園にしたい
- ・下高井戸、桜上水、西永福、永福からの人の流れを作る
- ・区外の人も来なくなる魅力ある公園
- ・「公の園」を地域の人で実感できる場
- ・区の南側寄りすぎているのをどう考えるか、周知の仕方は?
- ・公園という概念は廃する

利用方法

- ・年数回の地域住民に負担のかからない程度の行事(バザー、展示など)があったらいい

安全安心

- ・夜中に騒音を発することのないようにする対策が必要
- ・監視体制をしっかり行う
- ・安全に遊べる所として監視体制の充実をはかる
- ・災害時の避難場所
- ・防災を主眼にした公園
- ・特格的、機能的防災拠点
- ・公共地が避難場所になる利点
- ・区として防災拠点をどう考えているのか?
- ・ここのスペースだけで考えるのではなく、地域全般の今後の都市計画をイメージする

出入口

- ・出入りしやすい公園にしてほしい(現在は2カ所で閉鎖的)
- ・永福小の通学生徒のため7時30分から門を開けてほしい(荒玉水道は危険)
- ・使用時間に制限を設ける

健康、スポーツ

- ・青少年がのびのびと野球やサッカーをしてほしい
- ・特定のスポーツ利用の場所にせず、多目的に使える場所も必要
- ・自由に使用できる自然の中にあるスポーツジム機能
- ・スポーツイベントが開催できる機能(地域活性化のため)
- ・若者スポーツ、カルチャースペース(バスケット、スケボー、自転車)
- ・足に優しい舗装
- ・オープンなスポーツ機会の場(グループ占有×)
- ・地域でスポーツ利用できる仕組み(月1回程度)
- ・野球場は、少人数で場所を占有するので×
- ・芝生、裸足でも遊びたい
- ・子どもが目的なくとも遊びにくる場
- ・風揚げができる

施設

- ・既存建物をカルチャーや講習で利用
- ・管理棟の有効活用
- ・駐車場
- ・箱モノを作らない(防災に名を借りた)
- ・クラブハウスを地域住民の交流の場に(〇〇教室など)
- ・日本一おしゃれできれいな公衆トイレ(話題となる)
- ・2,3丁目範囲の会議室に使わせてほしい
- ・テニスコートの方にもトイレをつくる
- ・一部にはスポーツ施設もつくる

ペット

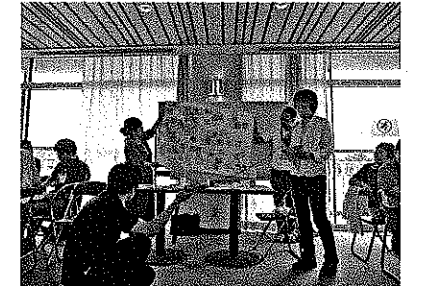
- ・ドッグラン
- ・ペットと散歩できる公園
- ・犬も利用できないだろうか

みどり

- ・高齢者と子供をメイン対象にした公園をつくる
- ・健康器具や、子供用の遊具がほしい
- ・散歩のできるコースがほしい
- ・日本庭園もとき(日本文化の継承)
- ・季節を感じる花が少ない(アジサイ、梅など)
- ・杉並区だからと言って、杉の木は植えなくてほしい
- ・あまり手を加えずに水と緑を大切に
- ・桜の木を公園に植えて欲しい
- ・みどりの場所を多くしたい
- ・通常では緑を多くした休まる所に
- ・広場はいい
- ・木を植えて日影をつくり、その下にイスを配置
- ・グラウンドの周りに散歩コースがほしい
- ・水の流れる(幼児)の水あそび場を端に作ってほしい
- ・10年後まで考えた植栽計画
- ・子どもから高齢者までが気軽に立ち寄れる散歩道(情報サインをいっぱい作る)
- ・自然との共生の場
- ・春夏秋冬を表す木々の植樹
- ・災害時の避難場所として考慮する

ボランティア

- ・全体の運営費が少なくなるようにボランティア体制を取り入れる。
- ・高齢者にボランティアをお願いする
- ・平日の昼間(午後2時ごろまで)の利用者が少ない。この時間利用を高齢者に



C

公園全体・地域

- ・できるだけ経費をかけない公園づくり
- ・折角の公園、快適に
- ・禁止のない公園
- ・マナーは大事
- ・規制ない公園
- ・昔は田んぼ
- ・田んぼは平ら。それがよかった
- ・地域の歴史性を活かす
- ・次世代につなぐ公園

神田川

- ・神田川とのつながり
- ・かなな橋側に橋が欲しい

安全安心

- ・近隣の方へ配慮が必要
- ・時間制限を考える(近隣の方へ配慮)
- ・夜は使わない
- ・時間制限
- ・安全性の重視
- ・安全性:訪問者、特に子供の安全性不可欠
- ・防災に配慮
- ・防災倉庫
- ・防災広く使える公園
- ・開放的な公園に
- ・コンクリート塀は不要
- ・どこからでも入れる公園に

ペット

- ・犬の散歩コースは作らない
- ・犬の問題

みどり

- ・環境にやさしい公園にしたい
- ・緑化:杉並No1の緑被率を目指す
- ・現状みどりは少ない
- ・環境
- ・散歩、ジョギングができる公園
- ・緑を増やす
- ・下高井戸は緑が多い地域

施設

- ・屋根付きの憩いの場
- ・遊具は不要
- ・ものは置かない
- ・原っぱ欲しい
- ・施設は少なめ
- ・子供の遊具は不要
- ・消防団の練習場

健康、スポーツ

- ・運動健康
- ・子供たちのスポーツの場を
- ・スポーツできる公園
- ・プールも欲しい
- ・室内競技の場
- ・健康対策、健康に人生の喜び

